

第12回神戸市みちの懇談会（議事要旨）

日 時 平成21年10月19日 午後3時00分～5時30分

場 所 神戸市役所都市計画総局大会議室

1. 第11回のみちの懇談会での主な意見と施策への反映について

- ・限られた道路空間において、新たに自転車空間を確保するのかどうか、どのように再配分するのがいいのかという検討が必要。
- ・電気自動車を含めた環境にやさしい陸上交通について、道路の側から戦略的に打ち出す必要があるかどうか検討が必要。
- ・「魅力・にぎわいを創出するみちづくり」に関する議論が必要。三宮中央通のオープンカフェのように、歩行者空間の賑わいの観点から、交通に支障のない範囲で道路活用をさらに誘導する施策を計画に位置づける必要がある。

2. 道路ネットワークについて

(1) 有料道路の料金体系について

- ・有料道路の料金について、本来どのようにあるべきかというポリシーが必要。
- ・ETCの普及状況を考えると、均一料金ではなく、すべて対距離料金にすることが十分考えられる。
- ・ロードプライシングのように高速道路に乗せるのか、あるいは混まないように乗せないのかというシステム全体としての観点と、利用者に解りやすいという観点から、料金体系を整理する必要がある。
- ・道路の料金は多様であることから非常に割高になっている面もある。新神戸トンネルは、移管により安くなることを期待している。
- ・すべての料金を安くすることは困難であり、例えば、物流運送は支援の観点から安くするなど考えられる。

(2) 道路ネットワークの基本方針

- ・神戸のまち全体の計画がどうなるのか、そのために道路がどのような役割を目指すのかという全体計画とのつながりが必要である。
- ・混雑解消を目的とした計画とを感じる。混雑解消も重要であるが、例えば、神戸港の港湾機能を強化することが重要課題であることから、物流を支援する道路ネットワークを構築するなど、明確な目指すビジョンが必要。
- ・ポートアイランドの発展も見据え、南北軸の強化に配慮した計画にする必要がある。

3. ユニバーサル歩道整備事業について

- ・駅周辺はすごく良くなってきているが、山の手で、歩道が設置されていないところもある。
- ・地域の方と事前点検を行うのは、とても良い方法である。
- ・今後とも推進する必要がある施策である。住民の人が納得するような優先順位が必要である。
- ・高齢者に優しいまちづくりを推進するためには、シニアカーも重要な視点である。
- ・バリアフリーについては、将来を見据えた技術や材料を検討する必要があると考える。